

事業名 CD	0110060305	生涯学習フェスタ事業
細分化した事業名		生涯学習フェスティバル実施事業
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり
	小項目	生涯学習の推進
関連する個別計画等	社会教育計画	根拠条例等 公民館設置及び管理に関する条例
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	生涯学習に係る活動の場を提供することにより、市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高めるとともに学習活動への参加を促進するための契機とする。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	市民
これまでの改善経過	平成13年度は文部科学省の「生涯学習まちづくり全国大会」も合わせて開催した。
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	〈実施・運営方法〉 □市 ■委託 □補助金 □その他() 開催日 平成21年11月25日(日) 場所 韮崎市文化ホール(大ホール) 内容 ①感謝状の贈呈>公民館活動への功労者 ②実践発表>韮崎北東中学校・鍋山分館 ③記念講演>「デュークエイセスコンサート」 出演:デュークエイセス
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	多くの市民に参加してもらい、本事業を契機として市民一人ひとりの生涯学習への意欲を高め、まちづくりに繋げていく。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		19年度	20年度	21年度
A	事業費 (千円)	1,720	1,720	1,944
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他			
	一般財源	1,720	1,720	1,944
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.24	0.25	0.50
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	1,656	1,727	3,412
D	総事業費(A+C) (千円)	3,376	3,447	5,356
* 参考		H21)市民1人当りの事業コスト 167 円	H21)市民1人当りの行政サービス費用 579,596 円	

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。
 注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、19年度(6,901千円)、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)を使用しています。
 注3)一般財源とは使途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			19年度	20年度	21年度
活動指標	実践発表件数	(団体・個人)	2	2	2
	講演・公演数	(講演・公演)	1	1	1
	参加者数	(人)	945	672	715
成果指標	満足度(アンケートによる) (算出式数値)	良かった/回収数(%) 29人/36人	98.84	75.00	80.55
効率指標	参加者一人当たりコスト (算出式数値)	総事業費/参加者数(円) 5,356千円/715人	3,572	5,129	7,490

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 会場もほぼ満席となり、1日を通して幅広く市民が生涯学習への意欲を高めることができた。	
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 参加者の満足度は上昇したが、内容にも見直しが必要である。	
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 総事業費は上がっているが、文化祭との共同開催により会場費等の経費節減に努めた	
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成	
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり	
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)	
	(1) 中長期的 さらなる効率化を図り、成果を上げる。	(2) 23年度 社会情勢等を的確に把握し、実行委員会で内容を検討する。
	(3) 22年度 文化祭と合同事業で実施	
21年度の改善計画	実行委員会にて検討を行う。	
21年度の改善結果	文化祭との共同開催により会場費等の経費節減に努めた	
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること) 地域での生涯学習活動や自己意識の向上のため、助長となる内容とする。		
課長所見	生涯学習宣言都市に相応しい事業であり、モデル分館・モデル校の実践発表等を行い市民が生涯学習への意欲を高めることができている。今後、更に他事業との統合を検討しながら実施していく。	